

2026 年 7 月 24 日

報道関係各位

GMO インターネット株式会社

GMO インターネット、「第 4 回日本ノーコード大賞」優秀賞を受賞
開発生産性 5 倍を実現した「AI 駆動開発」が評価
～AI を「ツール」から「チーム」へ – 開発モデルを刷新し、組織の変革を～

GMO インターネットグループの GMO インターネット株式会社(代表取締役 社長執行役員:伊藤 正 以下、GMO インターネット) は、一般社団法人ノーコード推進協会主催「第 4 回日本ノーコード大賞」(表彰式: 日本 DX 大賞 2026 サミット&アワード Day 2 2026 年 7 月 23 日/TODA ホール&カンファレンス東京) にて発表された「第 4 回日本ノーコード大賞」において、一般企業部門の優秀賞を受賞したことをお知らせいたします。

本受賞は、インターネットインフラサービスを提供する GMO インターネットの開発部門(システム本部) が部門横断で推進する「AI 駆動開発」^(※1)、および AI が自律的に開発を進められる環境を整備する仕組み「ハーネスエンジニアリング」により、開発工数 50%削減・年間 5,300 万円のコスト削減、開発生産性 5 倍を達成した組織的な変革が評価されたものです。



(※1)「AI 駆動開発」とは、生成 AI を単なる補助ツールではなく、実装・テスト・改善を自律的に行う「開発チームの一員」として位置づけ、人間は意思決定に専念する新しい開発手法です。

【受賞概要】

賞名	第 4 回日本ノーコード大賞 優秀賞 (一般企業部門)
主催	一般社団法人ノーコード推進協会 (日本 DX 大賞実行委員会)
受賞対象	AI を「ツール」から「チーム」へ AI 駆動開発で開発モデルそのものを刷新する
表彰式	2026 年 7 月 23 日 (木) 15:40～ TODA ホール&カンファレンス東京

【受賞の背景と成果】

生成 AI の登場以降、多くの企業が AI 導入を進めています。GMO インターネットが目指したのはその一歩先、AI を「使うツール」から「チームの一員」へ引き上げる、開発モデルそのものの刷新です。

取り組みは小規模な先行試行から始まり、開発部門は成功事例を全エンジニアへ段階的に横展開しました。開発の全工程に AI エージェントを連携させ、実装と改善を AI が自律的に回し、人間は「確認・承認」という意思決定に専念する体制を構築しました。

その結果、2025 年度末時点で開発工数 50%削減・年間 5,300 万円のコスト削減を実現しました。さらに、複数の AI が互いの成果物をレビューし合いながら品質を担保する仕組み「ハーネスエンジニアリング」を確立したことで、2026 年 6 月時点で開發生産性は 5 倍に到達しています。この体制のもと、現在は非エンジニアの企画・マーケティング担当者も AI エージェントを通じて開発の一部を担えるようになりました。

コードを書かずに開発に参加する「ノーコード」化が現場で進んでいます。

今回の受賞は、標準化された環境の整備と現場への伴走支援こそが AI 活用の定着と成果の鍵である、という考え方が外部評価として裏付けられた結果です。

【一般社団法人ノーコード推進協会 代表理事 中山 五輪男様のコメント】

「ノーコード」が本来持つ可能性を、GMO インターネット株式会社は プログラミングの有無にとらわれない、より広義の「開発の民主化」として体現されています。現場への標準化と伴走支援を地道に積み重ねた結果として、短期間で開發生産性 5 倍という成果を実現したことは、今後の日本企業における AI 活用の指標となるものです。非エンジニアの担当者も AI エージェントを通じて開発に参加できる体制づくりは、多くの企業にとって示唆に富む先進的な取り組みといえます。この受賞が、日本の DX 推進における新たな一歩となることを期待しております。

【受賞コメント】

GMO インターネット株式会社 システム本部 アーキテクチャー統括本部 アプリケーション共通チーム マネージャー 谷中 佑貴人（やなか ゆきと）

「このたびは大変光栄な賞をいただきました。私たちが目指したのは、AI を『使う』ことではなく、AI と協働しながら進化しつづける現場を『つくる』ことでした。標準化と現場への伴走支援という地道な取り組みを続けてきた結果が、こうして形になったことをうれしく思います。今後も開発組織そのものを進化させ続け、AI で未来を創る No.1 企業を目指してまいります。」

【日本ノーコード大賞について】

「日本ノーコード大賞」は、一般社団法人ノーコード推進協会（代表理事：中山五輪男）が主催するアワードです。プログラミング不要でアプリケーションや Web サービスの開発が可能な「ノーコード」ツールを活用した優れた事例を表彰するアワードです。日本最大級の DX コンテスト「日本 DX 大賞」のエントリー事例の中から選出され、両アワードの表彰式は毎年同時開催されています。本審査を通過したファイナリストが「日本 DX 大賞 2026 サミット&アワード」（2026 年 7 月 22 日・23 日／東京・京橋）にて発表されました。

【GMO インターネット株式会社について】

GMO インターネット株式会社は、ドメイン、クラウド・レンタルサーバー、インターネット接続などのインターネットインフラ事業と、インターネット広告・メディア事業を展開する総合インターネット企業です。「すべての人にインターネット」というコーポレートキャッチのもと、社会基盤を支える企業として安心・安全なインターネット社会の実現と、AI で新たな未来を創る価値創造に貢献し、関わるすべての方に「笑顔」と「感動」をお届けしてまいります。

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネット株式会社

社長室 広報担当 福井

TEL : 03-5728-7900

お問い合わせ : <https://internet.gmo/contact/press/>**【GMO インターネット株式会社】(URL : <https://internet.gmo/>)**

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 4784)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売 (レジストラ) 事業 クラウド・レンタルサーバー (ホスティング) 事業 インターネット接続 (プロバイダー) 事業 ■インターネット広告・メディア事業
資 本 金	5 億円 (2026 年 3 月末時点)

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産 (仮想通貨) 事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2026 GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.